

## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社  
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03(6229)0881  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	63,388	27.3	3,073	89.7	782	603.7
2020年3月期第3四半期	49,779	△0.8	1,620	5.1	111	△84.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,201百万円 (△46.4%) 2020年3月期第3四半期 4,103百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	31.51	—
2020年3月期第3四半期	4.87	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	184,255	43,792	23.7
2020年3月期	176,471	41,591	23.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 43,669百万円 2020年3月期 41,476百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	13.5	3,700	56.8	700	108.8	28.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	24,820,530株	2020年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	91株	2020年3月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	24,820,455株	2020年3月期3Q	22,820,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	対前年同四半期 増減率 (%)
経常収益	49,779	63,388	27.3
経常利益	1,620	3,073	89.7
親会社株主に帰属する四半 期純利益	111	782	603.7

経常収益は、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ13,609百万円増加し、63,388百万円(前年同期比27.3%増加)となりました。この増収効果に加えて損害保険事業における保険金支払いの減少や生命保険事業における資産運用が好調に推移したことなどを受け、経常利益は前年同期に比べ1,453百万円増加し、3,073百万円(同89.7%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ670百万円増加し、782百万円(同603.7%増加)となりました。

なお、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたご契約者様を対象に、保険料の払込猶予期間の延長や、災害死亡保険金等の支払事由の範囲拡大、保険金請求手続きにおける必要書類の一部省略などの特別措置を実施するなど、企業の社会的責任を全うするにあたって必要な各種の取り組みを継続的に行っております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益(経常利益)		
	第3四半期連結累計期間		増減率 (%)	第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2020年3月期	2021年3月期		2020年3月期	2021年3月期	
損害保険事業	21,018	23,820	13.3	△318	583	—
生命保険事業	13,915	20,548	47.7	2,046	2,694	31.7
少額短期保険事業	15,007	19,207	28.0	386	249	△35.5
報告セグメント計	49,941	63,576	27.3	2,114	3,527	66.9
セグメント間消去又は調整	△161	△188	—	△493	△453	—
四半期連結損益計算 書計上額	49,779	63,388	27.3	1,620	3,073	89.7

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

主力商品である自動車保険において、ご契約者様専用のスマートフォンアプリの提供を開始したほか、お客様の安全安心のカーライフをサポートするために、専用IoTデバイスを用いて急ブレーキ、急ハンドル、急アクセルの回数をスコア化するなどのテレマティクス関連サービスを提供する「SBI損保安全運転プログラム」を開始しました。また、これまでのYouTube広告などのデジタル広告の運用効率改善が功を奏し、従来からの強みとしてきた非対面チャネルの販売効率に一層の向上が見られました。加えて、SBIグループで推進する「地方創生」プロジェクトに沿って地域金融機関との協業にも積極的に取り組み、地域金融機関の口座保有者向けにがん保険の団体保険サービスを提供するなど、新たな顧客基盤開拓に向けた取り組みも推進しました。こうした取り組みの結果、2020年12月末の保有契約件数は1,127千件(前年度末比3.3%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比13.3%増加の23,820百万円となりました。また、セグメント利益については、増収効果に加えて保険金支払いの減少等を受け、583百万円(前年同期は△318百万円)となりました。

(生命保険事業)

団体信用生命保険において、SBIグループの「地方創生」プロジェクトの一環として全国の地域金融機関との提携交渉に継続して取り組み、新たに長野県内6信用金庫で取り扱う個人向けローンに対して、一括して団体信用生命保険を提供する共同化団信制度を開始しました。また、個人保険分野においては、コロナ禍を背景とするインターネットチャネルへのシフトや、インターネットで契約手続き等をいただいたお客様を対象としたキャンペーンなどから、非対面チャネルが引き続き伸展しました。一方、来店型ショップについても徐々にコロナ禍以前の来客数を回復しつつあり、個人保険全体の伸展に寄与しました。そのほか、生命保険業界において初めて、継続保険料の決済においてPayPay株式会社が提供する「PayPay請求書払い」に対応するなど、お客様のさらなる利便性の向上に向けた取り組みも推進しました。こうした取り組みの結果、2020年12月末の保有契約件数は233千件（前年度末比23.2%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が増加したことや、特別勘定資産運用益などの特別勘定（※）に係る経常収益の増加などにより、前年同期比47.7%増加の20,548百万円となりました。セグメント利益は、資産運用が好調に推移したことや団体信用生命保険における保険料収入の増収が寄与し、前年同期比31.7%増加の2,694百万円となりました。

（※）変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

(少額短期保険事業)

SBI日本少額短期保険株式会社とSBIプリズム少額短期保険株式会社は、名古屋に営業所を同時出店することで、さらなるグループシナジーを追求するとともに中部・東海エリアにおける営業力の強化に取り組みました。また、SBIいきいき少額短期保険株式会社は、葬儀分野においてサービスを提供する株式会社セレモアと業務提携し新たにご契約者様向けの葬儀費用優待サービスなどを展開するほか、SBIプリズム少額短期保険株式会社は大手ホームセンター、犬猫譲渡団体と協業して新たな譲渡会への取り組みを開始するなど、パートナー企業等との提携による新サービスの開発・提供を推進しました。加えて、SBI日本少額短期保険株式会社は、企業向けブロックチェーン基盤の開発経験が豊富なコンセンサス・ベイス株式会社との共同でブロックチェーン・プラットフォーム「Corda」を活用した代理店・募集人管理基盤システムを開発するなど、先進技術の活用による間接部門の生産性向上やコスト削減にも積極的に取り組みました。こうした取り組みの結果、2020年12月末の保有契約件数は927千件（前年度末比15.8%増加）となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことなどにより、前年同期比28.0%増加の19,207百万円となりました。一方、セグメント利益は、前年同期に比べのれんを含む無形固定資産に係る償却費が増加したことなどにより、前年同期比35.5%減少の249百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、184,255百万円（前年度末比7,784百万円増加）となりました。主な勘定残高は、有価証券125,319百万円（同7,414百万円増加）、現金及び預貯金27,680百万円（同95百万円減少）であります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、140,462百万円（同5,583百万円増加）となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金127,523百万円（同5,284百万円増加）であります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、43,792百万円（同2,201百万円増加）となりました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加1,411百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が782百万円増加したことあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月12日に公表いたしました「2021年3月期の連結業績予想に関するお知らせ」に記載した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金及び預貯金	27,775	27,680
買入金銭債権	797	5,997
金銭の信託	2,489	243
有価証券	117,904	125,319
貸付金	247	169
有形固定資産	536	512
建物	266	271
リース資産	39	30
その他の有形固定資産	230	211
無形固定資産	8,046	8,035
ソフトウェア	3,766	3,904
のれん	3,359	3,271
その他の無形固定資産	920	859
代理店貸	154	78
再保険貸	4,230	4,431
その他資産	12,589	10,040
繰延税金資産	107	149
支払承諾見返	1,600	1,600
貸倒引当金	△7	△2
資産の部合計	176,471	184,255
<b>負債の部</b>		
保険契約準備金	122,239	127,523
支払備金	16,930	16,468
責任準備金	103,485	109,459
契約者配当準備金	1,823	1,595
代理店借	312	218
再保険借	3,686	4,222
その他負債	5,734	4,905
退職給付に係る負債	37	32
価格変動準備金	623	700
繰延税金負債	647	1,257
支払承諾	1,600	1,600
負債の部合計	134,879	140,462
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	1,902	2,684
自己株式	△0	△0
株主資本合計	42,338	43,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△862	548
その他の包括利益累計額合計	△862	548
新株予約権	21	21
非支配株主持分	93	101
純資産の部合計	41,591	43,792
負債及び純資産の部合計	176,471	184,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
経常収益	49,779	63,388
損害保険事業	20,945	23,716
保険引受収益	20,186	23,060
正味収入保険料	19,453	23,048
積立保険料等運用益	10	11
責任準備金戻入額	722	—
資産運用収益	652	599
その他経常収益	106	57
生命保険事業	13,899	20,527
保険料等収入	8,720	11,236
保険料	7,042	8,870
再保険収入	1,677	2,365
資産運用収益	4,192	7,620
利息及び配当金等収入	1,788	1,676
有価証券売却益	518	1,311
有価証券償還益	—	0
金融派生商品収益	160	—
貸倒引当金戻入額	—	2
その他運用収益	2	0
特別勘定資産運用益	1,723	4,629
その他経常収益	986	1,671
少額短期保険事業	14,933	19,143
保険料等収入	14,660	18,680
資産運用収益	0	0
その他経常収益	273	462
経常費用	48,158	60,314
損害保険事業	21,225	23,154
保険引受費用	15,776	17,165
正味支払保険金	14,597	13,126
損害調査費	2,676	2,765
諸手数料及び集金費	△2,008	△1,967
支払備金繰入額	510	1,178
責任準備金繰入額	—	2,062
その他保険引受費用	—	0
資産運用費用	24	64
営業費及び一般管理費	5,409	5,913
その他経常費用	15	10

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
生命保険事業	11,863	17,838
保険金等支払金	8,933	10,934
保険金	1,469	1,779
年金	1,078	634
給付金	831	792
解約返戻金	2,907	3,949
その他返戻金	939	1,069
再保険料	1,707	2,708
責任準備金等繰入額	—	3,769
責任準備金繰入額	—	3,769
資産運用費用	257	70
支払利息	1	1
有価証券売却損	9	3
金融派生商品費用	—	0
為替差損	169	16
貸倒引当金繰入額	43	—
その他運用費用	32	47
事業費	2,566	2,883
その他経常費用	105	181
少額短期保険事業	14,585	18,873
保険金等支払金	8,602	11,732
責任準備金等繰入額	67	207
事業費	5,855	6,900
その他経常費用	59	31
その他	483	448
経常利益	1,620	3,073
特別損失	82	78
固定資産処分損	6	0
価格変動準備金繰入額	76	77
契約者配当準備金繰入額	1,295	1,581
税金等調整前四半期純利益	243	1,413
法人税及び住民税等	307	550
法人税等調整額	△171	80
法人税等合計	136	631
四半期純利益	106	782
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	782



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	106	782
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,996	1,418
その他の包括利益合計	3,996	1,418
四半期包括利益	4,103	2,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,108	2,193
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	20,945	13,899	14,933	49,779	—	49,779
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	72	16	73	161	△161	—
計	21,018	13,915	15,007	49,941	△161	49,779
セグメント利益又は損失 (△) (注) 3	△318	2,046	386	2,114	△493	1,620

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△493百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

少額短期保険業を営む日本アニマル倶楽部株式会社(現SBIプリズム少額短期保険株式会社)の子会社化により、少額短期保険事業におけるのれんが2,882百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注) 1						
外部顧客への経常収益	23,716	20,527	19,143	63,388	—	63,388
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	104	20	63	188	△188	—
計	23,820	20,548	19,207	63,576	△188	63,388
セグメント利益(注) 3	583	2,694	249	3,527	△453	3,073

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△453百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。